

世界史A

単位数	2単位	対象学年	1 学年	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	東京書籍「世界史A」	副教材等	「世界史Aワークノート」東京書籍		

1. 学習の到達目標

1. 世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を養う。
2. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史とも関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。
3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
4. 現代社会が直面する諸課題について、主体的な追究を通して認識を深めさせる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。（評価の観点4つあることを考慮する。）
2. 「世界史A ワークノート」を提出させて復習状況を確認し、評価の参考にする。
3. 収集した世界史についての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で取捨選択して活用する。

3. 学習上のメッセージ

授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
 解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
 重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。
 ノートの使い方(毎時間配付するプリントの貼付方法・補足事項の記入方法等)を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に集中している。 ・ 重要と思った事項や図を書きとめ、ノートの取り方を工夫している。 ・ 必要に応じて資料などを活用している。 ・ 期限を守って、課題の提出が出来る。 ・ 疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事象について、地理的、歴史的な因果関係を主体的に追求し、物事の本質を関連づけて考えることができる。 ・ 身の回りで起こる事象の社会（地理的・歴史的）背景について関心を持ち本や新聞・テレビ等で幅広い情報を得ようとしている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史資料を活用して疑問点を解決できる。 ・ 統計資料などを読みとり、有用な情報を得ることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歴史展開を世界史的視野から総合的に理解し、日本の文化と伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考や資質を養う。 ・ 世界の歴史の流れを把握し、その地域・文化圏の各時代の特色と歴史の流れを理解し、その知識を身につける。各地域・文化圏において重要な意味をもつ人物、歴史的イベントを、その地域の歴史に関連づけて理解する。

評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して解答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
世界史へのいざない	1. 自然環境と歴史 2. 日本列島の歴史に見る、世界とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、写真などから自然環境と歴史との関わりを理解する。 ・「人・モノの移動」「宗教の伝来」「食べ物・技術の移転」などを例に日本と世界のつながりを考える。
第1部 近・現代世界史の背景	序章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界 1. 東アジア世界 2. 東南アジア世界 3. 南アジア世界 4. 西アジア世界 5. ヨーロッパ世界 6. 南北アメリカ、アフリカ 7. ユーラシア交流圏	<ul style="list-style-type: none"> ・中国、朝鮮半島、日本列島などの東アジア世界についての歴史、文化を理解する。 ・東南アジア世界の歴史・文化をインド文化・中国文化との関わりから理解する。 ・インドを中心とする南アジア世界の宗教、文化の多様性を理解し、ヒンドゥー教やカースト制に注目する。 ・古代オリエント世界とイスラーム文明がヨーロッパに与えた影響を考察する。 ・古代ギリシア、ローマ文化とキリスト教を基盤に形成されたヨーロッパ世界の展開を理解する。
1 学期中間試験		
第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ	第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ 1. 中華帝国の繁栄と東アジア 2. 15～17世紀の東南アジア 3. 西アジアと南アジア 4. 16世紀のヨーロッパ 5. 主権国家体制の成立と世界商業	<ul style="list-style-type: none"> ・明、清を中心に、東アジア諸地域の動向を理解する。特に銀の流通や東南アジア方面への移民に注目する。 ・東南アジア諸地域の動向を、中国、イスラーム、ヨーロッパなどの進出とともに理解する。 ・ムガル帝国、オスマン帝国などを中心に南アジア世界の歴史と文化を理解する。 ・ルネサンスや宗教改革などの動きを整理し、ヨーロッパの海外進出とを関連づける。 ・主権国家体制の特色、世界商業の進展と大西洋貿易の動向について理解する。また、18世紀の大西洋三角貿易について考察する。
1 学期期末試験		
第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ	第3章 大西洋世界の変容とその波及 1. ヨーロッパとアメリカの諸革命 2. 産業革命と世界市場の拡大 3. ヨーロッパの動乱の波及	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオン戦争を中心とした歴史の流れ、それを支えた啓蒙思想を理解します。 ・イギリスで産業革命がおきた要因について考察する。その結果、資本主義が確立し資本家が成長するとともに、社会問題や労働問題が発生したことについて考察する。 ・ヨーロッパの動乱が世界の諸地域に与えた影響を理解する。
第4章 産業化社会の拡大と成熟 1. ウィーン体制とその崩壊 2. 国民国家への道	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制が崩壊していくなかで各国の自由主義とナショナリズムの展開を軸に理解する。 ・19世紀アメリカにおける西部開拓の進展と南北戦争による社会の変化について考察する。 ・イタリアとドイツの国民国家形成過程について理解する。 ・バルカン半島を舞台にロシアと他の列強諸国とが対立していた状況について理解します。 	
第5章 アジア諸国の変貌と日本 1. 東アジアの変容 2. 東南アジアの変容 3. 南アジアの変容 4. 西アジア、アフリカの変容	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの進出が中国社会に与えた影響や日清戦争めぐる東アジアの動きについて理解する。 ・ヨーロッパの進出による東南アジア諸国、インドの植民地化や従属化、抵抗運動について理解する。 	
2 学期中間試験		

第3部 現代の世界と日本	第6章 帝国と民族の時代 1. 急変する人類社会 2. 植民地の拡大と深まる国家の対立 3. アジア、アフリカの抵抗運動	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀末から20世紀初頭における移民などの人口移動や科学技術の発達等が人類社会にどのような影響を与えたかを考察する。 ・ヨーロッパがいかに帝国主義に発展したことを理解し、帝国主義列強諸国がどのように勢力を拡大していったのか理解する。 ・帝国主義の動きに対してアジア、アフリカの各地でおきた様々な民族運動について理解する。また、これらの民族運動において、植民地や半植民地の状態からの自立や独立をめざしてどのような政策が掲げられたのかを考察する。
	第7章 二つの世界大戦の時代 1. 第一次世界大戦 2. 戦後秩序の形成 3. 世界恐慌とファシズム 4. 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀初頭のヨーロッパの国際関係を理解し、第一次世界大戦の背景について考察し、その経過と性格を理解する。 ・戦争が終結にいたる状況とロシア革命について理解し、ヴェルサイユ体制、ワシントン体制の特質について理解する。 ・世界恐慌が国際秩序に危機をもたらし、ファシズムの台頭によって新たな国際対立が生み出されたことについて考察する。 ・ヨーロッパにおける大戦の展開と太平洋戦争の始まりについて理解し、日本やドイツの占領地における抵抗運動について理解する。 ・大戦が終結に向かう経過について理解し、戦後世界に及ぼした影響について考察する。
2 学期期末試験		
第3部 現代の世界と日本	第8章 冷戦と民族独立の時代 1. 戦後世界の形成 2. アジア、アフリカの民族運動 3. 冷戦体制の動揺 4. 冷戦の終結	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦体制の成立と国際連合成立の意義について考察し、東西両陣営の内部が次第に変化していったことを理解する。 ・戦後の中国における国共内戦と中華人民共和国の成立について理解する。 ・朝鮮戦争が世界や日本に与えた影響について考察します。 ・朝鮮戦争、ベトナム戦争が二本含め世界経済に与えた影響について考察する。またアジアNIES、ASEAN諸国の経済成長を理解する。 ・社会主義体制が崩壊した背景と、崩壊後の社会について考察します。
	第9章 グローバル化のなかの危機 1. グローバル化とアメリカ合衆国 2. 地域統合の模索 3. 動揺する中東と世界の地域紛争 4. アジアの変容と多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後の経済のグローバル化と地域統合の動きについて考察し、アジアが世界経済への影響力を強めている状況を理解する。 ・中東やアフリカの現状の課題について、世界史的な背景もふまえて考察する。 ・冷戦終結後の国際秩序の変化について理解し、世界の人々が多様性を認め合いつつ共生していく方向性等について考察する。
学年末試験		

